

# 平成23年度 笠松力検定 中級 問題用紙 制限時間60分

## 注意事項

- (ア) 検定問題は全50問で、1問から25問が4者択一方式、26問から50問が記述式です。解答用紙の記入にあたっては、1問から25問は番号を、26問から50問は問題で指示した語句を記入してください。
- (イ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (ウ) 受検中は、監督者の指示が出るまで検定会場を退出しないでください。
- (エ) 受検中は、携帯電話等を使用することはできません。
- (オ) 受検中は、問題の内容についての質問は一切受け付けません。

## 笠松力検定委員会

問題 1 から 2 5 までを読み、正しいと思われるものを一つ選び、  
解答用紙に番号を記入してください。

1. 岐阜県 42 市町村の中で、面積が一番小さいのは北方町ですが、笠松町は小さい方から数えて何番目ですか。

- ① 3 番目
- ② 5 番目
- ③ 7 番目
- ④ 9 番目

2. 笠松村が明治 2 2 年に、町制を施行し笠松町になりました。その後、下羽栗村、松枝村と柳津村の一部と次々合併して今日に至っていますが、大正以降 3 つの村との合併順はどの順でしたか。

- ① 柳津村の一部→松枝村→下羽栗村
- ② 松枝村→下羽栗村→柳津村の一部
- ③ 下羽栗村→柳津村の一部→松枝村
- ④ 柳津村の一部→下羽栗村→松枝村

3. 笠松町の町章（イラスト）は、カサと松葉模様で町名を斬新にえがき、円は親和協調を、円内の鋭角は町の躍進と栄光の道を力強く表現したのですが、何年に制定されましたか。

- ① 昭和 2 0 年
- ② 昭和 4 0 年
- ③ 昭和 6 0 年
- ④ 平成 2 1 年



4. 笠松町は誕生以来、合併を重ね人口も増加してきました。平成 2 3 年 1 月 1 日現在の世帯数は約何世帯ですか。

- ① 7, 200 世帯
- ② 8, 200 世帯
- ③ 9, 200 世帯
- ④ 10, 200 世帯

5. 笠松町のマスコットキャラクター「かさまるくん」と「かさまるちゃん」は、どのような関係ですか。

- ① 親子
- ② 双子
- ③ 恋人
- ④ 友達

6. トンボ池一帯のトンボ天国は、環境省や岐阜県からさまざまな指定を受け、自然に親しみ人々が集う笠松町の宝です。トンボがたくさん飛び交う自然の再生を目的に、平成22年からは再生工事に取り組んでいます。その工事を進めている機関はどこですか。
- ① 羽島郡二町教育委員会
  - ② 国土交通省
  - ③ 笠松町
  - ④ 無動寺・江川町内会
7. 笠松町指定文化財(天然記念物)のクロガネモチは高さ16メートルの大木で、樹齢は170年以上とされています。それはどこにありますか。
- ① 円城寺の秋葉神社
  - ② 田代の白鬚神社
  - ③ 米野の日枝神社
  - ④ 門間の神明神社
8. 濃尾地震が発生した時は、朝食を準備する時間帯でした。その結果、いたるところで火災が発生し、家屋の倒壊と火災により大災害となりました。当時の笠松町は、戸数1,005戸、人口4,732人でしたが、どれほどの被害が出たのでしょうか。
- ① 全壊家屋593戸 焼失家屋387戸
  - ② 全壊家屋406戸 焼失家屋501戸
  - ③ 全壊家屋341戸 焼失家屋178戸
  - ④ 全壊家屋160戸 焼失家屋600戸
9. 下新町の高島家「わた久」は、明治時代に「公の仕事」をしていました。その「公の仕事」とは何ですか。
- ① 警察署
  - ② 消防署
  - ③ 裁判所
  - ④ 郵便局
10. 笠松町が運営している公共施設巡回町民バスは、「米野高瀬」から「下門間」まで、約何分で運行していますか。
- ① 20分
  - ② 30分
  - ③ 50分
  - ④ 70分

11. 笠松町議会で1年の間に開かれる定例会は何回ですか。

- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回

12. 笠松町では、小児期からの生活習慣病予防を目的に、小学生を対象に血液検査を実施していますが、対象学年は何年生ですか。

- ① 3年生
- ② 4年生
- ③ 5年生
- ④ 6年生

13. 笠松には美濃郡代笠松陣屋が置かれており、人々は郡代を大名と同格と考え、奴行列を始めたと伝えられています。笠松まつりには、奴行列が練り歩きますが、奉納するのは「八幡神社」と、もう一つはどの神社ですか。

- ① 日枝神社
- ② 白鬚神社
- ③ 産霊神社
- ④ 神明神社

14. 幕府は直轄領の支配と治水対策のため、美濃郡代を置きました。笠町を笠松村に改め、笠松陣屋を構えたのは誰ですか。

- ① 大久保長安
- ② 岡田将監
- ③ 名取半左衛門
- ④ 野々垣源兵衛

15. 笠松陣屋に出入りする役人や裁判を受ける人のための宿泊施設が、陣屋周辺にありました。天保14年(1843年)には8軒を数えたといいますが、この施設は、どのように呼ばれていましたか。

- ① 郷宿
- ② 木賃宿
- ③ 預かり宿
- ④ 御赦免宿

16. 明治初期、美濃国の一部が「笠松県」と呼ばれていた期間がありました。その期間は約何年間ですか。

- ① 2年間
- ② 4年間
- ③ 6年間
- ④ 8年間

17. 松尾芭蕉の弟子の各務支考に始まる俳諧結社を「獅子門」(あるいは美濃派)といいます。今、獅子門の道統は41世まで引き継がれていますが、笠松町出身の32世道統は誰ですか。

- ① 高橋清斗
- ② 南谷翠濤
- ③ 三浦雲居
- ④ 大野鵠士

18. 「河野九門徒」の寺々には近郊から多くの老若男女が参詣し、訪れる人たちを相手に門前市が開かれていました。天正14年(1586年)に、円城寺の専福寺で「七齋市」が開かれるようになったのは、当時の岐阜城主だった武将の指示によるものでした。この武将は誰ですか。

- ① 池田輝政
- ② 堀秀政
- ③ 織田信雄
- ④ 池田恒興

19. かくれキリシタンが拝んでいたマリア像が刻まれているキリシタン灯籠(写真)が残されていますが、どこにありますか。

- ① 笠松みなと公園
- ② 笠松小学校
- ③ 八幡神社
- ④ 笠松町役場



20. 昭和22年、学校教育法の施行に伴い「笠松中学校」が創立しました。翌年に校舎建設が始まり、すべてが完成したのは昭和27年でした。校舎が完成するまで生徒が授業を受けていた場所はどこですか。

- ① 笠松小学校
- ② 八幡会館
- ③ 福證寺などの寺
- ④ 笠松公民館

21. 笠松町内にあり「笠工（かさこう）」と呼ばれ親しまれている岐阜県立岐阜工業高等学校の前身である岐阜県第一工業学校は、いつ開校しましたか。
- ① 明治35年
  - ② 大正15年
  - ③ 昭和5年
  - ④ 昭和19年
22. 20年毎に行われる「伊勢神宮」遷宮で使用される御神木は、かつて木曾川を舞台に「川下げ」が行われていました。現在は車による輸送に変わりましたが、笠松を通る「御神木流し」が行われた最後の年はいつですか。
- ① 明治34年（1901年）
  - ② 大正10年（1921年）
  - ③ 昭和16年（1941年）
  - ④ 昭和36年（1961年）
23. 無動寺に「土岐塚」があります。土岐塚は天文13年、織田信長の父信秀が美濃に攻め込んだ「無動寺の戦い」で、義父である斎藤道三の策略によって殺害された武将の“墓”です。この武将は誰ですか。
- ① 土岐頼香
  - ② 土岐頼芸
  - ③ 土岐頼次
  - ④ 土岐頼益
24. 笠松競馬で18年連続リーディングジョッキーとなり、中央競馬に移籍して活躍している騎手は誰ですか。
- ① 柴山雄一
  - ② 安藤光彰
  - ③ 濱口楠彦
  - ④ 安藤勝己
25. 笠松競馬が生んだ名馬「オグリキャップ」が、引退レースとして出走して、1着となったレースは次のうちどれですか。
- ① 安田記念
  - ② 宝塚記念
  - ③ 有馬記念
  - ④ 天皇賞

問題26から50までを読み、各設問の指示に従い解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

26. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松の歴史は“水との闘い”と無縁ではありませんでした。「川」や「池」という字がつく地名（町内名）が多くあります。「川」がつく地名（町内名）には・中川町・上柳川町・下柳川町・江川があります。

27. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治30年に羽栗郡と中島郡をあわせた2町18村の郡が設置されました。郡役所は笠松町に置かれました。

28. 次の文章を読み、に入る数字を小数点以下第2位まで書きなさい。

笠松町は木曾川右岸に帯状に広がっています。面積平方キロメートルのうち、木曾川の占める割合は約3分の1です。

29. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

昭和10年、木曾川橋の工事中に、田代地内の川底15メートルから、マガキの化石が出土しました。このことから、昔の笠松は湾の内海であったことがわかります。

30. 次の文章を読み、に入る名称を漢字で書きなさい。

木曾川流域最大の湊は、物資の集散地として栄えました。荷揚げや積込みする米・調味料・陶製品・石・薪炭・紙などの物資は、石畳を利用して運搬されました。

31. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

トンボ池は、木曾川のかつての本流が取り残されてできた池です。このように形成された池はと呼ばれています。

32. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

木曾川鉄橋が完成し、昭和年に一宮と笠松を結ぶ鉄道が開通しました。その後、岐阜と名古屋を鉄道で行き来できるようになりました。

33. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町第5次総合計画に掲げるまちづくりの理念は、「」を活かし「調和」を大切にしたいまちづくりです。

34. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

平成23年10月1日現在、岐阜県内には、47,908人の外国人が登録されています。笠松町の外国人登録数は299人ですが、1番多い国はで157人です。

35. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

「羽島郡二町教育委員会」は、町と笠松町が機関の共同設置をしたものです。共同設置の教育委員会は、全国でも唯一の存在です。

36. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

道徳のまち推進Tシャツの胸に書かれている文字は「道徳のまち かさまつ」ですが、背中には「のまち」という文字が書かれています。

37. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

門間の慈眼寺には、1本のヒノキを真ん中から割って造られた町指定文化財の不動明王像と毘沙門天像がありますが、この2体の作者はです。

38. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている「の芭蕉踊」は、雨乞い踊りの一つで、江戸時代から行われています。特に日照りのひどい時は、岐阜の手力雄神社まで踊りながらお祈りに行ったところ、雨が降ったといわれています。

39. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松陣屋の建物は、その後に笠松県庁、岐阜県庁となりました。岐阜県政発祥の地を記念して、陣屋のあった場所には右の写真の史跡が残されていますが、この地名（町内名）はと命名されました。



40. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松で関ヶ原の戦いの前哨戦の「の戦い」がありました。この戦いは、木曾川を渡って押し寄せる東軍の軍勢と、それを迎え撃つ西軍の岐阜城主織田秀信の戦いでした。

41. 次の下線の漢字の読み仮名を書きなさい。

鎌倉時代に入り、京都と鎌倉を往来する人が多くなり、その道を鎌倉街道と呼びました。笠松町にもこの街道はありましたが、それは現在の羽島市から笠松町北及の兒神社前を経て愛知県一宮市に出る道でした。



42. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

かつて「笠松三郷」と呼ばれた笠松地域ですが、町村合併が進められた明治8年に3つの村が合併し、「笠松村」となりました。その3つとは、笠松村、奈良津新田、新田でした。

43. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

木曾川の水害から生活を守るため、木曾川左岸の尾張国側に「御囲堤」が築かれました。堤防を造る際は「美濃の堤は尾張より尺低かるべし」といわれていたため、木曾川右岸の美濃側は水害が絶えませんでした。

44. 次の下線の漢字の読み仮名を書きなさい。

昭和32年、長池の土地改良工事中に、寺院の半壊状態の塔心礎や多くの瓦などが出土しました。この寺院は「東流廃寺（蓮台寺）」と呼ばれ、塔心礎の形状や大きさから、塔の高さは30メートル程あったと推測されます。発見された塔心礎は田代の白鬚神社に移されました。

45. 次の文章を読み、に入る苗字（氏）を漢字で書きなさい。

今の田代には、14世紀頃から蓮台城があったといわれています。城主の可行（泰可）の子は可成で、その可成の子には、織田信長の小姓の蘭丸もいます。

46. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

江戸時代、歴代の尾張藩主は所領地の岐阜町を訪れる際、木曾川を渡り円城寺の野々垣家に立ち寄り、「の坂」の西側を通って行きました。その通った道を「お成り道」と呼んでいました。

47. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

宝暦治水工事により、出水時には長良川の水位が上がり境川を逆流しました。水害に悩まされていた松枝輪中の農民たちは許可を得ずに、畑に土を盛って堤を造りましたが、尾張藩北方奉行酒井七左衛門は農民の窮状を救うため、これを黙認しました。

48. 次の文章を読み、に共通する語句をひらがなで書きなさい。



「どこ行きやるな～」と歌われる民謡は、笠松が「発祥の地」といわれています。「笠松まつり」の時には、写真のように太鼓を肩にかつぎ、歌いながら練り歩くが登場することもあります。

49. 次の文章を読み、に入る語句を正確に書きなさい。

かさまつまちづくりイベント実行委員会が主催し、笠松みなど公園で開催される2つの大きなイベントは、8月15日の「笠松」と、秋の「リバーサイドカーニバル」です。

50. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

奈良津堤上に、イチョウの大木があります。その一角には、全国的に珍しい右の写真の「塚」と、縁結びの神である魂生大明神が祀られています。

